



22 - 25 AUGUST 2007

Kuala Lumpur Convention Centre, Malaysia

平成19年度農林水産物等海外販路創出・拡大委託事業
(海外展示・商談活動 (マレーシア (クアラルンプール)))

実施報告書

平成 20 年 3 月

農林水産省大臣官房国際部貿易関税チーム輸出促進室

(委託先：株式会社近鉄エクスプレス)

目次

| | |
|---|-----|
| はじめに | 3 |
| 第1章 Hotel & Food Malaysia 2007 の概要 | |
| 1. 事業趣旨 | 4 |
| 2. 事業の抽出課題と事業の目標 | 4 |
| 3. 開催概要 | |
| (1) 展示会プロフィール (2007 実績) | 5 |
| (2) 日本パビリオン概要 | 5 |
| (3) 会期スケジュール | 6 |
| (4) 日本パビリオン出展者リスト | 7 |
| (5) 展示会場概要 | 8 |
| 第2章 Hotel & Food Malaysia 2007 における日本パビリオンの運営 | |
| 1. 事業全体の流れ | 1 2 |
| 2. 運営内容の詳細 | |
| (1) 出展者募集 | 1 2 |
| (2) 出展品について | 1 3 |
| (3) 出展品の物流 | 1 3 |
| (4) 日本パビリオンの設営 | 1 4 |
| (5) 通訳・プロモーターの配置 | 2 0 |
| (6) 集客イベント | 2 0 |
| (7) 来場者誘致やプロモーション | 2 3 |
| 3. 会期中の様子 (写真による紹介) | 2 9 |
| 第3章 成果と課題 | |
| 1. 出展者の評価 (会期 1 週間後の出展者総合アンケート) | 3 0 |
| 2. 成果 | 3 4 |
| 3. 課題 | 3 4 |
| 4. 総評 | 3 5 |
| ※ 参考資料 | 3 6 |

はじめに

本報告書は、平成19年度農林水産物等海外販路創出・拡大事業として日本パビリオンの設置、運営を行った、マレーシアのクアラルンプールにおける国際食品見本市「FHM 2008」の出展事業概要を取りまとめたものである。

農林水産省では、農林水産物の輸出額を平成25年までに一兆円規模にするという政府目標の実現に向け、様々な輸出促進対策事業を実施している。農林水産物海外販路創出・拡大事業（海外展示・商談活動）は、我が国の農林水産物や食品の海外での販路を新たに創出、またはそれを拡大することを目的とし、輸出志向のある生産者、メーカー、商社及び関連団体等に対し、海外における展示・商談活動の場を提供、支援するものである。

本事業においては、マレーシア市場という比較的日本食文化の高い浸透度を考慮しながら、開催都市クアラルンプールのみならず、マレーシア全域及び周辺国からの集客が可能なFHM2007において、日本パビリオンを設置、出展12社への商談支援を行った。

同国における食材市場は、国際都市のひとつとして、また近年は同じイスラム文化を共有する中東諸国からの旅行客の増大などの後押しをうけて、多様化と順調な需要の伸びを見せている。本事業を通して高品質な我が国の農水産物や食品を紹介をできたことは、同国における益々の需要拡大にむけて、日本食への関心と理解を更に深めさせるきっかけとなったと言えるのではないかと。

本報告書が、今後同国への農水産物及び食品の輸出を検討する関係各位にとって参考となれば幸いである。

なお、本事業は農林水産省が株式会社近鉄エクスプレスに委託して実施した。

平成20年3月

第1章 FHM 2007 概要

1. 事業趣旨

近年、世界的な日本食ブームの広がりやアジア諸国の経済発展に伴う富裕層の増加等により、高品質な我が国の農水産物・食品の輸出拡大のチャンスが増大している。このような中、輸出志向のある農水産物・食品の生産者等がマレーシア及び近隣諸国へ輸出するための足がかりとして、同国の首都であるクアラルンプールにおける国際食品見本市に日本政府パビリオンを設置し、出展者の商談成約に向けた活動を支援することで、同市場における販路の創出・拡大を図るとともに、広く日本食・日本食材の紹介を行うことを本事業の趣旨とした。

2. 事前の抽出課題と事業目標

マレーシアは、宗教的にイスラム教徒、仏教徒、キリスト教徒、その他が混在した国民構成であり（それぞれ 60%、20%、10%、10%）、人種間で少しずつ異なる生活様式をばくくんできた。しかし近年になって、産業化、国際化進む中で、消費者の所得も増加（平均で約 35%）、トレンドの追求とともに食文化の多様化が急速に進んでいる。また、安全な食材への関心や健康志向食へのシフトも、特に中華系マレー人を中心に始まっている。クアラルンプール市内には大手日系百貨店や日系スーパーマーケットなどもすでに同地に定着しており、食も含めた日本文化は消費者の間では広く浸透しているのが現状である。つまり、以前は一部富裕層にのみ食べられてきた日本食、日本産品が、徐々に中間層へと販路を拡大している過程にあるといえる。

したがって、本展示会に取り組むにあたっては、以下の点を考慮しながら出展者の支援を行った。

- 宗教上の食のタブーが存在する（イスラムのシャリヤ・コンプライアント）。
- 一方で富裕層の大部分を構成する中華系マレー人はトレンドに敏感で、日本食材の購買意欲も旺盛。
- 空港施設を始め国内輸送インフラは整っており、ロジスティクス的な問題はあまり考えられない。
- 生鮮食材の輸入に関しても規制は緩やかである。

同展示・商談会においては上記を考慮の上、以下の諸点を企画、実施することで密度の高いプロモーションを行うことを目標とした。

- ① 事前の集客、誘致活動により、より多くのターゲット来場者の確保
ホテル、レストラン関係者への DM 配布や、インターネットによる情報戦略

など

- ② 「囲い込み」戦略による商談率の向上
ターゲット来場者の滞留時間の拡大と試食オンリーの来場者の排除
- ③ 他国ナショナルパビリオンとの差別化と、日本チームとしての一体感の創造
来場者への良品イメージの植付けや出展者間の相乗効果
- ④ 料理デモや試食品による日本食文化や食材へのなじみ感の創出
パビリオン前面におけるデモ用キッチンの設置とイベント
- ⑤ 食材内容に対するわかりやすい情報提供
- ⑥ 出展品全品目の輸入規制に関する事前チェック

3. 開催概要

(1) 展示会プロフィール (2007 実績)

| | |
|-------|--|
| 開催地 | クアラルンプール (マレーシア) |
| 展示会名 | Food & Hotel Malaysia (FHM) 2007 The 9th Malaysian International Exhibition of Food, Drinks, Hotel, Restaurant & Foodservice Equipment, Supplies, Services & Related Technology HP : http://www.foodandhotel.com/ |
| 会場 | Kuala Lumpur Convention Centre (KLCC) |
| 出展規模 | 10,000 sq metres 出展者数 : 650 社 (32 カ国) 10 のナショナルパビリオン (日本含む) |
| 会期 | 2007 年 8 月 22 日 (水) ~ 8 月 25 日 (土) 会場時間 : 10.00 am - 6.00 pm (8 月 22 日~24 日) 10.00 am - 5.00 pm (8 月 25 日) |
| 主催 | Malaysian Exhibition Services Sdn Bhd (MES) |
| 来場者数 | 18,383 人 (53 ヶ国) |
| 来場対象者 | 食料・食品産業の専門職、商業・貿易関係の訪問者のみ |

(2) 日本パビリオン概要

| | |
|-------|---|
| 出展者数 | 12 社 |
| 参加規模 | 152 m ² (8m×19m) 及び商談スペース約 50 m ² |
| 会場内位置 | Hall 2 ブース番号 : 2B-01 |

(3) 会期スケジュール

| 日程 | 8/21(火) | 8/22(水) | 8/23(木) | 8/24(金) | 8/25(土) |
|-------|----------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|--|
| 時間 | 搬入など準備 | 展示会第1日 | 第2日 | 第3日 | 最終日/撤去 |
| 9:00 | 9:00 会場入口にて出展者 入館証配布 | 9:00 朝の連絡会議 開会式 | 9:00 朝の連絡会議 | 9:00 朝の連絡会議 | 9:00 朝の連絡会議 |
| 10:00 | | 10:00-18:00 展示会開催 | 10:00-18:00 展示会開催 | 10:00-18:00 展示会開催 | 10:00-17:00 展示会開催 |
| 11:00 | | | | | |
| 12:00 | | | | | 12:30-13:30 |
| 13:00 | | | 13:00-14:00 料理ショー | 13:00-14:00 料理ショー | 料理ショー |
| 14:00 | オリエンテーション 通訳・プロモーター | 14:00-15:00 料理ショー | | | |
| 15:00 | 紹介、出展物教育など | | | | 15:00-16:00 料理ショー |
| 16:00 | | | 16:00-17:00 料理ショー | 16:00-17:00 料理ショー | |
| 17:00 | | 17:00-18:00 ハッピーアワー | | | 17:15 迄は撤解体 作業は禁止 17:15 電気と水が 止まる |
| 18:00 | | Exhibitor's | | | |
| 19:00 | | Night | | | |

(4) 日本パビリオン出展者リスト

| No. | カテゴリー | 会社 | 所在地 | 出展品の一部 |
|-----|-------|--------------------------------------|------------|--|
| 1 | 果物 | 日本園芸農業 協同組合連合会 | 東京都 | 桃、梨、ぶどう、温州みかん |
| 2 | 魚 | 株式会社 マルシメ 21 | 静岡県 | かつおのたたき、まぐろ醤油漬け、うなぎ蒲焼、まぐろうま煮、あさりの佃煮、あじの開き、ほっけの開き、いかの塩辛 |
| 3 | 茶 | 宇治の露製茶 株式会社 | 京都府 | 日本茶、抹茶、ペットボトルお茶、ティーバッグ(煎茶、玄米茶、ほうじ茶) |
| 4 | 茶 | 佐々木製茶 株式会社 | 静岡県 | 抹茶、抹茶ラテ、粉末緑茶、煎茶、煎茶ティーバッグ(水出し)、 など |
| 5 | 酒 | 大関株式会社 | 兵庫県 | 清酒、梅酒 |
| 6 | 菓子 | ヤマトウ商事 株式会社 | 北海道 | 北海道産大豆製品(煎豆等)、豆菓子製品、スナック製品(ごまスナック、ひまわりスナック) |
| 7 | 菓子 | 株式会社ロツテ | 東京都 | チョコレート菓子(コアラのマーチ、パイの実、トッポ、ガーナチョコレート) |
| 8 | 調味料 | キューピー 株式会社 | 東京都 | マヨネーズ、ドレッシング、 など |
| 9 | つゆ | 株式会社フタバ | 新潟県 | お好み花削り(かつお節)、鰹つゆ |
| 10 | 惣菜 | 株式会社 ヤマダイ食品 | 三重県 | 業務用冷凍調理済惣菜、市販用冷凍食品、ミネラルウォーター |
| 11 | 米油 | 築野ライスフ インケミカルズ 株式会社 | 和歌山県 | 米油 米糠抽出成分各種 |
| 12 | 調味料 | Mizkan Asia Pacific. PTE., LTD | シンガ ポール | 米酢、醸造酢、穀物酢、ポン酢、てりやきのタレ、ドレッシング(ごま、ゆず醤油、からし醤油) |

(出展者敬称略)

(5) 展示会場概要

会場名：Kuala Lumpur Convention Centre (クアラルンプール・コンベンションセンター)

HP：<http://www.klccconventioncentre.com>



外観



外観(夜間)



外観(正面入り口)



エレベーターホール



中央通路



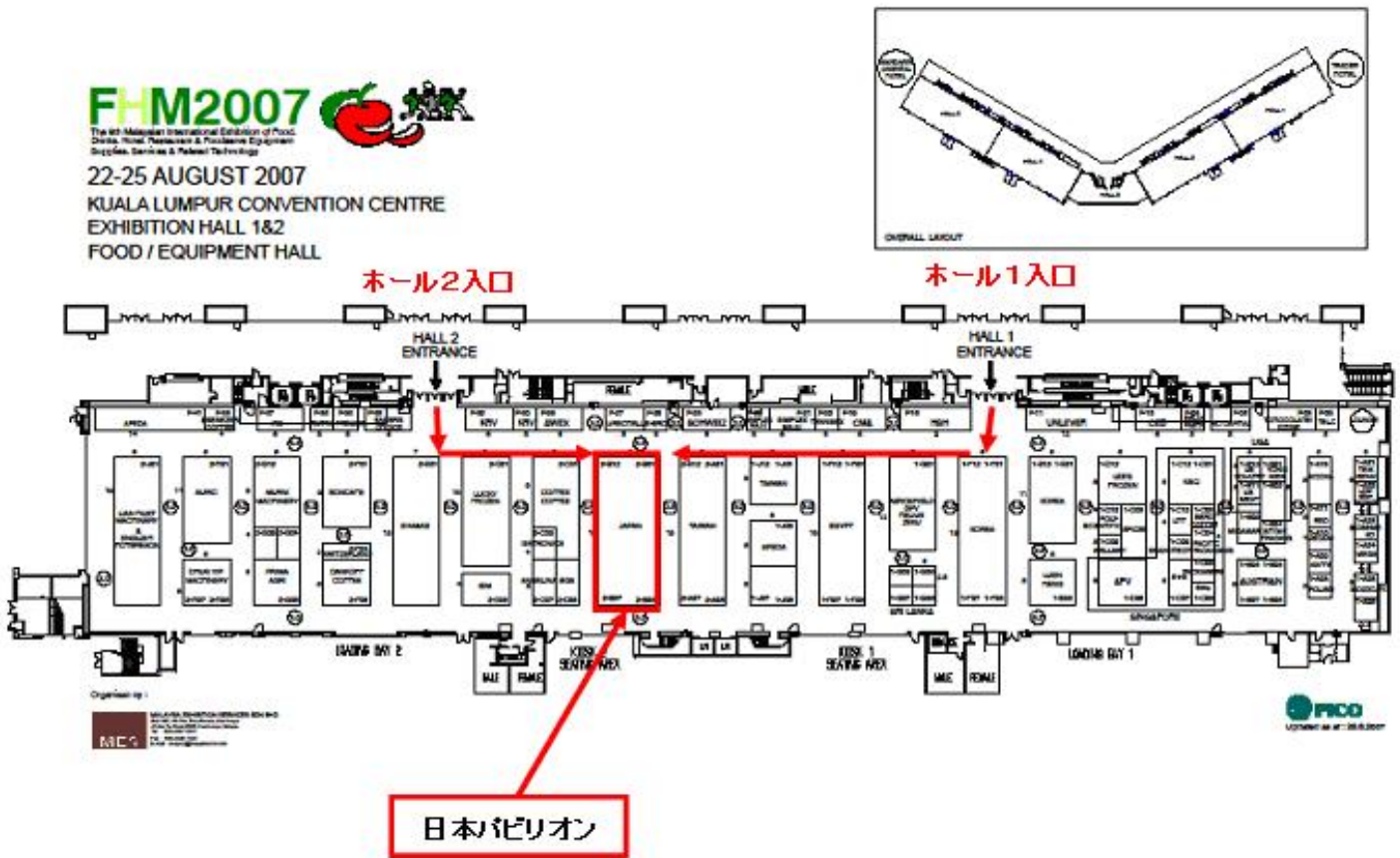
ホール入り口



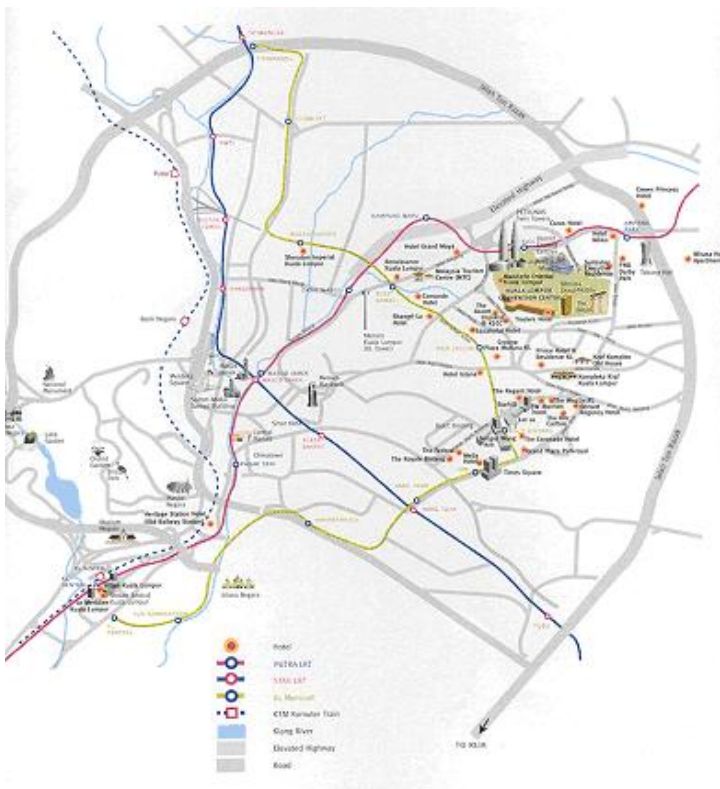
会場内



◆ホール2内日本パビリオン位置



◆展示会場周辺地図



- KL の中心街
- KLIA (クアラルンプール空港) から車で約一時間
- モノレール駅、大ショッピングセンター (伊勢丹KLCC含む)、ホテルが隣接

◆展示会場へのアクセス

クアラルンプール・コンベンション・センター(KLCC)は、市の中心地にある1万平米の最新開発地区。

